



竣工を記念してテープカット

大栄B&G海洋センターリニューアル

元オリンピック選手が指導

2/24



レシーブの指導を受ける

大栄B&G海洋センターの受電設備と照明LED化工事が完了し、リニューアル式典が同センターのアリーナで行われました。式典終了後には、バレーボール教室が開催され、市内6中学校のバレーボール部から63人が参加しました。講師は、元バレーボール日本代表で、平成24年のロンドンオリンピック銅メダリストの佐野優子さん。参加者は、佐野さんからのレシーブやパスなどについてのアドバイスに、真剣な表情で耳を傾けていました。

試食で用意されたそば



農業大使と地元を味わうinしもふさ

永島敏行さんと一緒に

2/17

地域の農産物のおいしさを知ってもらおうと「農業大使と地元を味わうinしもふさ」が直売所しもふさで開催されました。俳優で成田市農業大使の永島敏行さんを迎えてのミニトークショーや、下総地区で生産されたそばやレンコンの料理の試食、焼き芋・レンコン・米の無料配布などが行われ、会場はたくさんの人でにぎわいました。ミニトークショーで永島さんは「直売所しもふさのそばはおいしいと聞いているので、食べられるのが楽しみ」と話していました。



永島さんがレンコンと米を来場者に



丁寧に材料を混ぜ合わせる

味噌づくり講習会

自分で仕込む優しい味

2/16

地域に根付いた食文化を知ってもらうため「味噌づくり講習会」が農産物加工施設「あじの里」で行われました。21人の参加者は、通常4日かかる味噌づくりの最終工程を体験。ゆでた大豆とこうじ、塩を混ぜ合わせ、専用の機械でミンチ状にした後、たるに詰めて持ち帰りました。参加者は「添加物がないのがうれしい。秋ごろまで寝かせるので、出来上がりが待ち遠しい」と話していました。

子どもミュージカル

一人一人が主役

2/18

小学生18人が出演する「子どもミュージカル」が、もりんぴあこうづで公演されました。演目は、転校する友達と思い出をつくるためチアダンスに取り組むというオリジナルストーリー。10月から歌やダンス、演技など11回に及ぶ稽古を重ねてきた子どもたちは、堂々と舞台に立ちました。出演者の一人は「みんなと息を合わせることを意識して練習した。本番は上手に踊れて良かった」と充実した笑顔を見せていました。



はつらつとしたダンスを披露



慎重に筆先を乗せて描く

水墨画教室

白と黒で自分を表現

2/23

水墨画の基本的な描き方を学ぶ「水墨画教室」が公津公民館で行われ、9人が参加しました。教室では、筆に少量の墨を残してかすれた線を引く「^{かっぴつ}渴筆」や、輪郭を描かずに墨の広がり^{もっこつほう}で絵を表現する「没骨法」といった描き方を練習。講師からは「筆遣いにその人の性格が出る。思い思いに自分を表現して」とアドバイスがあり、参加者はそれぞれ個性的な作品を仕上げました。

コロコロひな人形をつくろう

空きカプセルを再利用

2/25

おもちゃの入っていた空きカプセルを利用してひな人形を作る「コロコロひな人形をつくろう」が、子ども館で行われました。子どもたちは人形に見立てたカプセルに顔を描き、^{しやく}扇子を持たせて、ひな人形を制作。造花やびょうぶなどで飾り付けた台座に乗せて完成させると、うれしそうに見せ合っていました。



台座をシールで飾り付け